

Cultural Enrichment Program



教養深化 プログラム

人文社会科学の
総合的な学修

文理融合・
学際的な学修

社会と繋がる
実践を重視

高度な専門知識を持った
即戦力人材へ



HOKKAIDO
UNIVERSITY

大学院の専門教育は専門分野の研究を高めることはもちろんですが、そのためには「課題を発見し解決する力」、「俯瞰する力」、「複合的に考え正しく伝える力」、「行動する力」等が必要です。それらは専門分野のみならず実社会においても活躍できる総合的な能力（ジェネリックスキル）です。

教養深化プログラムは、人文社会科学諸分野において培われてきた「文系力」をもとにした専門分野を横断する大学院レベルでの教養教育を行います。それにより、人間・社会・文化に対する深い洞察力と複眼的な視点から問題を把握する問題発見力・問題解決力を鍛えていきます。それを基盤に専門知識を活かしながら、高度なジェネリックスキルをバランスよく持っている総合的判断力と豊かな人間性と高い知性を備えた人材を育成します。

教養深化科目群

●教養深化特別講義 「北海道学」

多様な視点から地域を俯瞰的に捉える力を養う。



●教養深化特別演習（基礎） 「古典を読む」

学術領域の研究の根幹を形作る基本文献としての「古典」を読みます。



●教養深化特別演習（基礎） 「文書作成と表現の技術」

報告書や企画書など実務的文書に対応する「書く力」を身につける。

●教養深化特別演習（基礎） 「伝える媒の技術」

研究の内容・面白さを専門外へ伝える「媒（なかだち）」する技能を学びます。



●教養深化特別演習（総合） 「ニセコ・フィールドスタディ」

住民へインタビューし地域を総合的に学び、課題の解決を考える。



●教養深化特別演習（総合） 「インターンシップ」

インターンシップに参加し、修了後のキャリアの具体的な将来像を描く。

●教養深化特別演習（総合） 「修学旅行の企画を立てる」

企画を立てることを通して、構想力、独自性、説明力などを養う。

●サイエンスリテラシー特別演習 「不確実性との向き合い方： リスク・ガヴァナンスの観点から」

リスクに向き合い判断するとはどういうことか、実践できる道筋を身につける。

●サイエンスリテラシー特別演習 「科学と社会」

科学者にインタビューし記事を執筆。質問・伝えるスキルを習得します。



●サイエンスリテラシー特別演習 「デジタルクリエイティブ基礎」

Adobe社のデザインソフトの基礎技術を習得、活用を目指します。



社会で役立つ
汎用的な力

身につく力

■考える力・書く力・読む力・発表する力・総合する力

■数理的思考力・データ処理能力

■ジェネリックスキル※2

知識活用力・課題解決力・コミュニケーション力・
チームワーク／リーダーシップ・科学リテラシー

※2 社会人として活躍するための能力のこと。社会で役立つ汎用的な力を指す言葉として使われています。

ジェネリックスキル科目群

●ジェネリックスキル特殊講義 「キャリアマネジメントセミナー」

仕事において必要となる実践的なスキルや考え方を身につけます。



●ジェネリックスキル特別演習 「キャリア形成」

企業等で活躍するゲストの講演からキャリア形成の視野を広げます。



●ジェネリックスキル特別演習 「インターンシップ事前準備」

多様なキャリアの可能性を最大化

教養深化プログラムは、それぞれの専門領域の学修・研究に付加するかたちで参加するアド・オン型プログラムです。大学院で研究を高めて学位を取得した後の進路は、かつては大学や研究所をはじめとするアカデミアを目指すモデルが一般的でしたが、現在にはもっと多様な選択肢があります。学位を取得した大学院修了者は、高度な研究力と専門知識を有する高度職業人として、社会のさまざまな分野で活躍することが期待されています。

このプログラムは、より教養を深め、その幅を広げるとともに高度に実務的な能力を身につけるものです。現在はアカデミックポストを得る上でも、実務的なスキルや専門にとどまらない厚みのある教養が重視されています。このプログラムは、受講生の能力を高めて多様なキャリアパスに対応する可能性を最大にします。

Cultural Enrichment Program

教養深化プログラム

人文社会科学の総合的な学修

研究室単位の専門科目の学修とともに、
人文社会科学の諸分野を横断する
学修プログラムを発展的に学びます。

文理融合・学際的な学修

数理的思考やデータの分析・活用方法を学ぶとともに、
自然科学の最先端の知に触れ、
自らの専門知識をベースに
自然科学への理解を深めます。

社会と繋がる実践を重視

人材育成本部、CoSTEP※1と連携した
実践的な学修を行います。

※1 北海道大学高等教育推進機構科学技術コミュニケーション
教育研究部門。科学技術の専門家と市民の橋渡しを
する人材を育てる教育研究組織。

高度な
専門力

専門分野の研究をさらに深める



所属大学院での専門教育

受講者の声

【文学院 哲学倫理学研究室】

吉澤 日芙美さん



大学院で自分の専門分野だけ学ぶのは視野が狭くなってしまいそうでもったいないと思い教養深化プログラムを受講しました。「伝える媒の技術」では相手を理解し考えをまとめることの面白さと難しさを感じました。「文書作成と表現の技術」では組織の中で文章を書く基本を教わり勉強になりました。教養深化プログラムで学ぶ内容は学問を超えて仕事をする上での基礎となる力になりそうです。修了後は大学院で学んだ専門知識と教養深化プログラムで身につけた力の両方を活かせるような仕事につきたいと考えています。

【公共政策学教育部
公共経営コース】

米田 夏輝さん



自分が所属する大学院からだけではなく、さまざまな専門の大学院生が集まる教養深化プログラムは北海道大学の総合大学としての利点を活かしていると思います。「古典を読む」の授業では、まったく専門の違う他の受講生の読み方、着眼点から刺激を受けました。キャリアマネジメントセミナーやインターンシップでは、現場の方の話を伺う、現場に出ること、そしてそれを整理し振り返ることで新しい発見ができました。大学院修了後にも役立つ、知っているだけで差がつく内容を得ることができるプログラムだと思います。

- 専門科目は指導教員が指導、教養深化プログラムはプログラム教員が担当し、両者の連携により、無理のない履修計画を確保します。
- セメスター科目、集中講義を多く取り入れ、就職活動やインターンシップに配慮したカリキュラムを設定します。

指導体制・ 専門教育 との関係

- 専門科目とできるだけ重ならない時間帯に開講するよう配慮します。
- 人材育成本部やキャリアセンターの協力のもと、きめ細やかな就職支援を行います。(キャリア相談、インターンシップ紹介等)

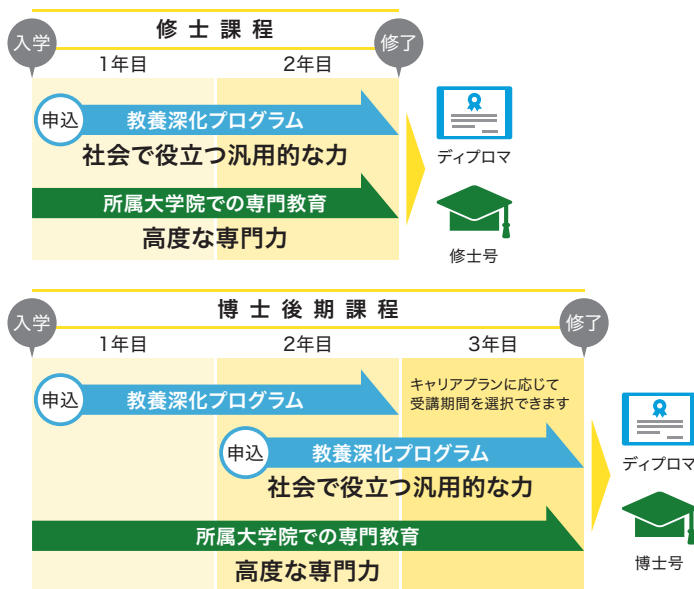
受講対象者 ▶ 北海道大学の大学院に在籍する修士課程・博士後期課程の学生



修了要件を満たすとディプロマを取得できます。(修士課程は修了時、博士後期課程は修了要件を満たした年度末)

科目名		必要単位数	
教養深化科目群	教養深化特別演習(基礎)・ 教養深化特別講義	2	2
	教養深化特別演習(総合)	2	
	サイエンスリテラシー特別演習	2	
ジェネリックスキル科目群		2	

プログラムの科目を5単位以上履修することで受講証明書を発行します。



北海道大学 教養深化プログラム

北海道札幌市北区北10条西7丁目
E-mail: cuenp@let.hokudai.ac.jp
教養深化プログラムWEBサイト
<https://cep.let.hokudai.ac.jp>



Twitter
@cuenp_hokudai



Instagram
cuenp_hokudai



Facebook
@cuenp.hokudai